

ECC アーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人山口学園 ECC アーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2024 年 2 月 29 日に学校関係者評価委員会を開催しましたので以下のとおり報告いたします。

2024 年 3 月 20 日

学校法人山口学園
ECC アーティスト美容専門学校
学校関係者評価委員会

- 開催日時：2024 年 2 月 29 日（木）14:00～16:00
- 場所：ECC アーティスト美容専門学校 (2602 教室)
- 参加者：
学校関係者評価委員（「ECC アーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分）

【関連業界等関係者「同第 12 条第 1 項（1）」】

大久保 紀子 氏（一般社団法人 ジャパン・ビューティメソッド協会 JBMA）【委員長】
荒川 悠子 氏（株式会社ガモウ関西）
河合 捺菜美 氏（株式会社クラブ・ワークス）

【卒業生「第 12 条第 1 項（2）」】

松田 裕香子 氏（ECC アーティスト美容専門学校卒業生）

【保護者または地域関係者「第 12 条第 1 項（3）」】

中上 隆雄 氏（済美地域社会福祉協議会 会長）

【その他校長が必要と認める者「第 12 条第 1 項（4）」】

貴治 康夫 氏（立命館高等学校）

【同席者】

中村 竜二 ECC アーティスト美容専門学校 学校長
川添 雅英 ECC アーティスト美容専門学校 学校長代理
東井 喜美 ECC アーティスト美容専門学校 副校長
兼田 寛子 ECC アーティスト美容専門学校 キャリアセンター
長尾 邦光 ECC アーティスト美容専門学校 入試課
松岡 佑治 ECC アーティスト美容専門学校 教務課
山本 恭子 ECC アーティスト美容専門学校 専任教員

令和5年度第2回学校関係者評価委員会では、①第1回学校関係者評価委員会にて頂いたご意見・ご指摘への対応状況の報告、②2023年度の学校運営に関する報告、③2024年度の学校運営方針に関する報告、そして、それぞれの報告事項に対する参加委員様からの意見・質疑応答という形で議事を進行。

第1回学校関係者評価委員会にて頂いたご意見・ご指摘への対応状況の報告

自己評価報告書の基準1、2に関わる部分：理念の教職員、学生の理解、共感度を高めるための方法及び浸透度を測定

①2024年度から意識共有の場としてのMTGの設定、学生向けオリエンテーションにおけるハンドブック読み合せ、目標達成シートの運用について報告。

②自己点検の場として、教職員・学生向けのセルフチェックシート、及び学生向け目標達成シートの運用について報告。

自己評価報告書の基準3、4に関わる部分：人間力の育成につながる取り組み、学生のレベル格差に対する対応方法、個別サポートの方法、卒業生とつながりを継続していく方法

①学生同士のつながりを意識した取り組みとして、学び合い（ピアティーチング、ゼミ、Eコレ）、研修旅行（東京研修（BA）、韓国研修）、卒業生連携（OBOGセミナー（全コース）、卒業生交流会（HM/Eユニット、TZ））を報告

自己評価報告書の基準5、6に関わる部分：休退学防止策としての学生のモチベーション維持

自己評価報告書の基準9、10に関わる部分：中崎町において当校の特性を生かした地域貢献の可能性

①社会とのつながり・意識作りに関する取り組みとして、サービスマーケティング・地域貢献・ボランティア（施設でのメイクサービス、株式会社ココウエルの商品販売、大阪市子ども夢プロジェクトの参画、済美地区夏祭り参加）について報告。

②インターンシップに関する取り組みを報告。

③居場所作りに関する取り組みとして、トモカフェ、学生会の活動を報告。

④学生相談室連携に関して、学生へのオリエンテーション等での案内状況を報告。

自己評価報告書の基準7に関わる部分：学校パンフレット、保護者様向けの別冊への記載内容

①成長マップの掲載、サポート体制の掲載内容充実、学費案内・奨学金の説明充実について報告。

上記の報告について、各委員のご意見・ご感想・質疑

Eコレは2回目の参加だったが、感動した。コロナ禍を終えて、生き生きとして頑張っている姿良かった。学生のボランティアが増えているのは良かった。教員はどこまでサポートしているのか？映像もかなり凝っているが、どのように作成しているのか？学生支援の取り組みを、学校全体からコースの取り組みへの変更はされたのはなぜか？

【回答】学生の自主性を最優先に適宜アドバイスをする姿勢でサポートしている、また、プロの演出チームが参加し運営をバックアップしている。学生支援については、支援活動への参加する学生の固定化が見られたことと日々の学生生活の中でクラス単位・コース単位で動くことがほとんどのためより実情に合った支援にするために変更した。

キャンドルナイトで沢山の来訪やボランティアが来てくれた。コロナ前の状態に戻り、夏祭り、カーニバルなど、沢山の学生に来て欲しい。

Eコレに出たいと思わせる仕組み作りは何かあるか。弊社でもコンテストに全員参加しているが、スタッフによって注力の度合いが違うので、どのようにしてモチベーション高く参加しているのか知りたい。成長マップは、非常に良い取り組み。弊社でも次年度から取り組みたいと考えている課題であり、将来の道筋を知っておくことは重要で、美容師になりたいだけでなく、その先々も考えることが重要。この学校に入って、2年、3年後にどのようになっているのかを示すことは大切。

【回答】全員参加する形だが、低学年から会場に見学で入っていて、自分たちが舞台に立つイメージを持たせるようにしている。

Eコレをずっと拝見していて、プロのモデルの参加、取り組む姿勢、規模などが圧倒的に違う。ディレクションの中でそこに向かって学生が取り組んでおり、エンドロールの中で取り組む過程まで見せてもらえることができる。低学年も見ることができて、モチベーションに繋がっている。コロナ禍で縮小していたものが、戻ってきて嬉しい。意識の共有、改革の部分について、セルフチェックシートの取り組み、自己評価・他者評価の組み合わせをしていくのが良いのではないかと。研修旅行、非常に良いと感じた。セミナーなどのサポートを依頼することも可能。

国内研修は良い取り組みだと感じる、海外研修だとハードルが高いので、より参加しやすい。ボランティアに参加した学生のインタビューが良かった、参加したいが参加方法が分からない学生にとって有益である。学校で学ぶだけでなく、学外に出て実践的に学ぶ機会が良いのではないかと。思う。

メイクゼミが非常に良い取り組みであり、ピアティーチングになっている点が良い。学生同士が主体になっているのが素晴らしい。

【回答】昨年度から初めて2年目であるが、教える側も教えてもらう側もモチベーション高く出来ている。

②2023年度の学校運営に関する報告

広報・入試課からの報告

2024年度入学予定者の募集状況、ブライダル・ウェディングコースの募集停止について説明。募集向上に向けた取組として、分野別体験授業、オープンキャンパスの構成を変更することで体験授業の希望と希望コースの齟齬を解消する取り組みを報告。また、高校ガイダンス参加者数の増加やInstagramにチャットボット機能を追加するなど、高校生の流行りに合わせた取り組みについて説明。

教務課からの報告

教育の質の向上と学修成果主義に基づいた教育活動について説明。特に、目標設定シート・学修成果発表会の定着を図ることで、教育活動、及びその成果を可視化、言語化して、他者に伝えることまでを目指した指導を行った。進級・卒業率について、卒業学年での退学率の高さが顕著となっている。また、企業連携の強化として、2023年度・全コースでの企業連携授業の実施、及び2024年度の新規連携状況について報告。また、専任教員より、授業各回における授業の意義の共有や学生指導にあたっての工夫内容について説明。最後に、2023年度から開講した高等部について説明。

キャリアセンターからの報告

2023年度卒業生（2024年3月卒業）の内定状況について説明。経変比較として、ビューティアドバイザーコース、美容科の就職実績を比較し、コロナ禍を経ての変化について報告。また、近年の学生の傾向について説明、その傾向に合わせた指導方法などを説明。

上記の報告について、各委員のご意見・ご感想・質疑

入学予定者で海外の方がおられるが、どういった国が多いか。また、高校ガイダンスの参加数増加とあるが、ガイダンス先の高校の選定方法はありますか。学生の傾向について、どこの企業も今後感じていくことではないかなと感じる。育ってきた環境、コロナ禍の制約など、その影響が出ているように感じる。自身の意思を表明するように促進する指導などをして頂けると有難い。

【回答】台湾などからの学生がおり、海外からの直接入学、もしくは国内・日本語学校からの進学となっている。ガイダンス先については、関西圏の高校で、入学実績がある高校を中心にしている他は、当該高校の進学先の状況を見て、訪問先を選択している。

学生募集の際にZoomなどオンライン方式の利用はあるか。GEAの出場者は英語力高く、入賞するだろうと思っていた。卒業年次生の退学について、金銭面での理由はあるか。学生の傾向について、コロナ禍の影響が高校でもある。加えて、高校の新課程が進んでおり、次年度で3年生まで進むことになるため、それ以降の入学生でも大きく変わるかもしれない。授業へのICT機器の利用等も影響が出てくる。世の中の影響も大きいですが、学校での学びのスタイルの変化が大きいかもしれない。

【回答】オンライン方式は、コロナ禍では利用していたが、今は対面が中心になっている。卒業年次の退学では金銭面理由は多くはない。

コロナ禍で外に出なくなった部分の影響であり、やはり様々な人と関わることが重要。是非、ボランティアに来て色々な大人と関わってもらいたい

自分が何をしたいのかについて、分かっているのか、分かっているのかの学生に対して、しっかりと対策を取られていると感じる。どこの企業も新人教育で悩みを持っていて、採用の難しさを感じる部分でもある。分かっているか、分かっているのかが伝えられないのではなく、本人自身も分かっている可能性もあるのではないかと感じる。他者に伝えるまでをゴールにしている点は素晴らしい、他者に伝えるためには自身がしっかりと理解していないといけな。必ず返信させる、いいねをさせるなどは良い習慣、自分が分かったではなく、自分が分かったことを相手に伝えることが大切。褒めてから、指導するという点は素晴らしい、先生から言われた言葉は非常に大切だと思うので、継続して欲しい。

高校ガイダンスは高校に行って実施するのか。担任との先生との関係について、学生の分析や面談の状況は共有されているか。日常の行動や授業報告なども共有されているのか？

【回答】高校ガイダンスは高校に行って、事前アンケートに基づいて、希望者がお話を聞くケースが多い。可能な範囲で卒業生が同行したりする。教務課やコース内で情報共有なども行っており、日々の行動や授業報告などを先生方から受けて、必要に応じてフォローに入るなどしている。

休退学者数が課題になっているが、何か対応策はしているか。様々な学生のバックグラウンドに配慮したクラス編成や、進級時だけでなく、1年生の途中でクラス再編なども考えてみるのも良いのでは。

【回答】入学前からの居場所作りを強化しており、目標設定をしっかりと先を見せることを意識している。

③2024年度の学校運営方針に関する報告

報告事項として、2024年度の学校運営方針について説明。2023年度末をもって異動となる職員からご挨拶。

最後に、委員より企業における奨学金返還支援制度について、ご紹介が行われた。

今回の議事を踏まえて、本校では 2024 年度は以下の通り学校運営を行ってまいります。

学校関係者評価委員会では、毎回委員の方々より、本校の教育活動、運営における課題に対し客観的な視点から専門的な多くのご意見、提言をいただいております。

今後はいただいたご意見、提言を真摯に受け止め、「美容業界で長く活躍できる人材育成」という目標達成のために、教育の質保証、学修成果の向上を目指し、改善に努めていく。

今回は 1 回目いただいた提言に関して、各部署、各コースで対応を中長期で検討すること、短期で改善できることにわけ、取り組んできたことを発表しご意見をいただいた。取り組みの方向性に関しては賛成いただいたので、このまま進めていく予定である。

なお、大きな課題となる学生募集に関しては、高校生に教育成果を伝えらえるよう、学校全体でオープンキャンパスなどに取り組むを図っていきます。

以上